

<p>いま 『今』通信</p>	<p>【校訓】 自立をめざし 明るく すなおに たくましく</p>	<p>鶴岡高等養護学校 校長だより Vol. 1 令和6年4月30日</p>
----------------------------	---	--



ごあいさつ

日頃より本校の教育活動に多大なご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

このたび、校長として着任しました 園部直人 と申します。令和3年度から令和5年度まで教頭として本校教育に携わってまいりました。これからも本校の教育活動がさらに充実・発展するよう力を注いでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



令和6年度の学校生活のスタート

過日、4月9日（火）に一学期始業式を行い、令和6年度の学校生活がスタートしました。また、その日の午後には入学式があり、14名の新入生が本校に入学しました。今年度の生徒数は第1学年14名、第2学年15名、第3学年17名、全校生徒46名で、昨年度より1名多い生徒数での学校生活のスタートです。本校は庄内地区全域が学区です。そのため、毎日の通学が難しい生徒も安心して本校で学ぶことができるよう寄宿舎もあります。

年度初めの学習では、学校生活の過ごし方や授業に向けた準備をしたり、学級ごとにグランドの桜満開の木の下で集合写真を撮ったりして、生徒も教職員も和やかに学校生活を送りました。4月17日（水）には「職業」の授業が始まり、仕事に必要な知識や技能、礼儀などを本格的に学んでいます。

入学や進級をした新しい学校生活。どの生徒も期待や緊張をもちらながら過ごしたと思いますが、一人一人がこれからの学習や生活の目標を立て、積極的に学んでいます。

「生きる力」の育成のために～「生徒を主語にした学校づくり」～

今の時代は、「変化の激しい時代」「予測困難な時代」といわれています。感染症のまん延、地震や台風などの災害、世界各地で起きている戦争が及ぼす人権や経済への影響…。一方では、ICT技術の急速な発展、社会の多様化・複雑化、多様性のある社会づくりの進展、働き方の変化など…、社会の仕組みや私たちの考え方などが短期間で変化する時代です。

このような状況の中、これから時代を生きる生徒一人一人が、自分の強みを發揮して、お互いの良さを尊重し、対話を基本に納得のいく話し合いを深め、地域社会で活躍できる生徒に育ってほしいと思います。そのために、学び手である「生徒を主語にした学校づくり」を大切にして、知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(健やかな体)をバランスよく学べる学校づくりに取り組みます。

家庭、地域の皆様とともに



一人一人のより良い成長と進路の実現は学校だけではできません。生徒の確かな学びと成長のためには、ご家庭の皆様、生徒が生きる地域の皆様と「協働」した学校づくりが必要不可欠です。

今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

山形県立鶴岡高等養護学校

校長　園部　直人

		校歌	
一	今　青春のときを 希望にあふれて　学びながら	作曲　藤原義久	作詞　本間俊美
二	今　青春のときを　刻もう 心とからだを　きたえながら	若さがはずむ　鶴高養	
三	今　青春のときを　刻もう 力を合わせる　鶴高養	自立をめざし　たくましく 自立をめざし　たくましく	
明日へばたく 鶴高養	若い未来を　語りながら 自立をめざし　限りなく	自立をめざし　きたえながら 自立をめざし　きたえながら	



*校長より「『今』通信」は、校歌の歌い出し「今～」からいただきました。
「今」をより良く学び、より良く成長する、鶴高養の「今」をお伝えします。